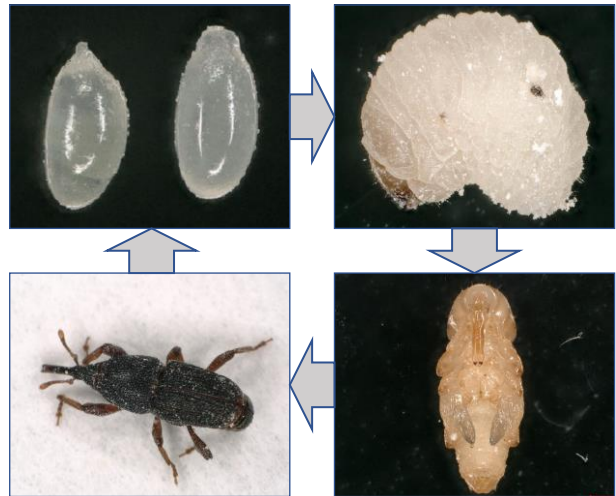


コクゾウムシ

分類：コウチュウ目(鞘翅目)オサゾウムシ科

学名：*Sitophilus zeamais*

英名：Maize weevil



■解説^{2) 3)}

本種は、硬質の食物へ産卵する習性を持ち、米、麦などの穀物のほかに乾麺やビスケットなどの固形食品の害虫として問題となる。雌は、米や麦に穴をあけ、その中に1穀粒当たり1個ずつ卵を産みつける。卵から孵化した幼虫は、蛹になるまでの期間を食物内部で過ごすため、成虫以外のステージは発見しにくい。本種は、世界各地に分布し、日本でも各地で普通に見られる。

コクゾウムシは飛翔能力を有するが、近縁のコクゾウムシ(学名 *Sitophilus oryzae*) のわが国における系統は飛翔能力を持たない。

■体長

卵：0.76±0.07×0.27±0.02mm¹⁾
 幼虫：1.77～2.80mm(4齢)²⁾
 蛹：3.06～3.23mm前後²⁾
 成虫：2.3～3.5mm³⁾

■産卵数⁵⁾

産卵数/生涯：
 37±4.7卵(小麦 25℃ 50%R.H.)
 217±19.7卵(小麦 25℃ 70%R.H.)

■ライフサイクル

卵：5日(25℃)³⁾
 幼虫：20日(25℃)³⁾
 蛹：5日内外(25℃)³⁾
 成虫：♀64.3±38.6日、♂100.9±46.4日(玄米 30℃ 50～60%R.H.)⁴⁾

■発育零点(発育停止温度)⁶⁾

約11℃(含水量14.5%玄米 70%R.H.)

【参考文献】

- 1) G.L.Lecato et al. Description of Eggs of Selected Species of Stored-Product Insects. Journal of the Kansas Entomological Society 47(3). 1974, p. 308
- 2) 原田豊秋. 食糧害虫の生態と防除. 光琳. 1971, p. 423-442
- 3) 安富和男・梅谷献二. 衛生害虫と衣食住の害虫. 全国農村教育教会. 1995, p. 78-79
- 4) 里見綽生. 防虫科学 20. 1955, p. 55
- 5) F.Segrov. J.Exp.Biol., 28, 281. 1951
- 6) 三井英三. 農林水産技術会議 研究成果 126. 1982